



1月号

2026年1月4日

Pick UP !

## テーマ | わんにゃん小説

『もふもふ』カツセマサヒコ ほか/著(新潮社)

ISBN:978-4-10-180280-0



犬と猫をテーマに、ちょっと不思議な話からぞわっとくる話まで、多彩な取り揃えのアンソロジー。

可愛くて癒されるだけではない、翻弄される飼い主のリアルが目に浮かぶよう。一緒に生きていくことの嬉しさも切なさも交えた、目頭が熱くなるような一冊。



『にゃんずトラベラー』石田祥/著(実業之日本社)

ISBN:978-4-408-55919-3



箱入り猫の茶々は、飼い主の千代が海外出張する都合で、京都の実家に預けられることに。先に住んでいた猫と伏見稻荷を散歩していたら、40年前の京都にタイムスリップしてしまった……！

可愛い猫のタイムトラベル冒険譚。



『犬がいた季節』伊吹有喜/著(双葉社)

ISBN:978-4-575-52717-9

1988年夏の終わり、捨てられた犬が八稜高校で保護された。「コーチロー」と名付けられ、生徒と共に学校生活を送ることに。

進路に恋愛に悩みながら卒業していく生徒を見送るコーチロー。その優しい眼差しにしんみりするような作品。



QRコードを読み込むと、品川図書館のホームページから本の詳細を確認することができます。

→裏面もチェック！

## わんにゃん小説

『少年と犬』馳星周/著(文藝春秋)

ISBN:978-4-16-391204-2



一匹の犬「多門」が、様々な人と関わりながら旅をしていく連作短編集。多門と関わる人々はそれぞれに問題を抱えながらも、多門と寄り添い、別れの時を迎える。

人と犬のつながりを強く感じられる、絆の物語。



『猫さえいれば、たいていのことはうまくいく。』

荻原浩 ほか/著(ポプラ社)

ISBN:978-4-591-18440-0



6人の作家による猫にまつわるアンソロジー。

ただただ猫が可愛い話や、ちょっぴリスパイスの効いた話など、バラエティに富んだ一冊。



## 注目の新刊

11/1~11/30の間に新しく受け入れた本の中からおすすめを紹介！

タイトル	著者 出版社	ISBN
サンクチュアリ	犬塚理人 講談社	978-4-06-540845-2
オーロラが見られなくても	近藤史恵 KADOKAWA	978-4-04-116320-7
聖女の論理、探偵の原罪	紺野天龍 早川書房	978-4-15-031604-4
BOXBOXBOXBOX	坂本湾 河出書房新社	978-4-309-03246-7
犯人と二人きり	高野和明 文藝春秋	978-4-16-392037-5